



記 録

RECORDING  
NUMBER

no. 4

QUARTER-FINAL

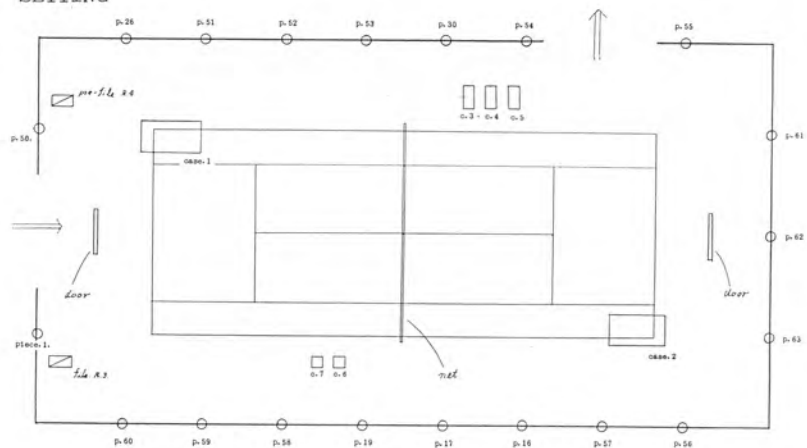
DATE

1984.3.1. (SAT) ~ 3.11. (SUN)

PLACE

KYOTO-INDEPENDANT

SETTING



piece.1. p.50. ----- 記 録

p.26 p.51 p.52 p.53 p.30 p.54 p.55  
case.1 c.2 c.3 c.4 c.5 ----- 誰もいないテニスコート

p.56 p.57 p.16 p.19 p.58 p.59 p.60  
c.2 c.3 c.4 c.5 c.6 c.7 ----- 表面/

p.61 p.62 p.63 ----- PIECE

RECORDER

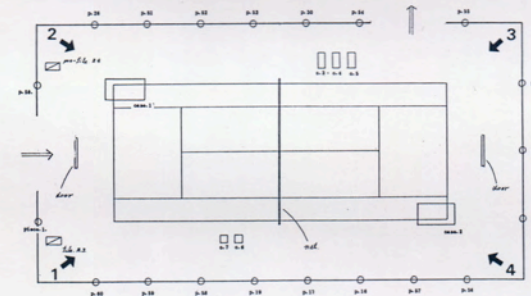
MIHOKO KOSUGI AND YASUHIKO ANDO



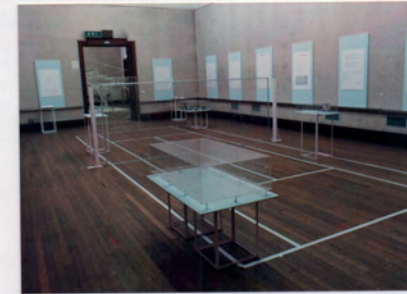
1



2



3



4

記 録

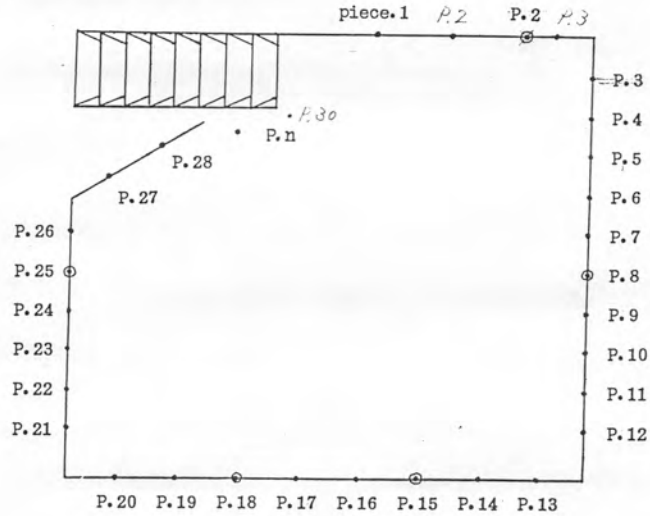
RECORDING  
NUMBER

no. 3

DATE 1983. 9. 20. (TUE) ~ 9. 25. (SUN)  
(12:00 ~ 7:30)

PLACE KIYAMACHI GARO  
(KYOTO KIYAMACHIDORI SHIJO AGARU HIGASHI)

SETTING



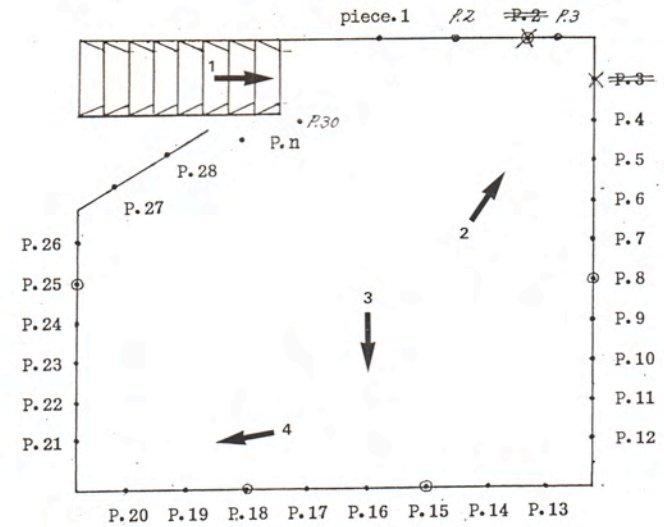
|   |       |             |
|---|-------|-------------|
| piece. 1                                | ..... | 記録          |
| P.2 P.3 P.4                             | ..... | 交感          |
| P.5 P.6 P.7                             | ..... | 影. 1        |
| P.8 P.25                                | ..... | Eye         |
| P.9 P.10 P.11 P.12                      | ..... | Veil        |
| P.13 P.14 P.15 P.16 P.17 P.18 P.19 P.20 | ..... | 表面          |
| P.21 P.22 P.23 P.24                     | ..... | のぞきこむ       |
| P.26 P.30                               | ..... | 誰もいないテニスコート |
| P.27                                    | ..... | PIECE       |
| P.28                                    | ..... | Piece       |



1



2



4



3

RECORDER

MIHOKO KOSUGI AND YASUHIKO ANDO

記 録

RECORDING  
NUMBER

no. *n.h.* 1

THE COURT

BY HIROKO NAKATSUKA  
GO HAYASHI

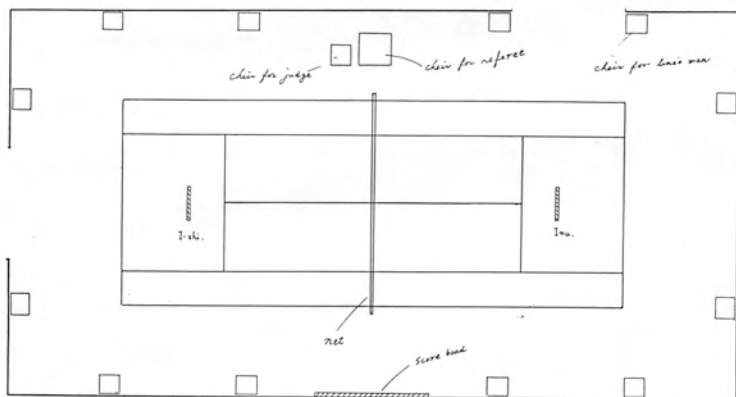
DATE

1983. 3. 3. (SAT) ~ 3. 13. (SUN)

PLACE

KYOTO—INDÉPENDANT

SETTING

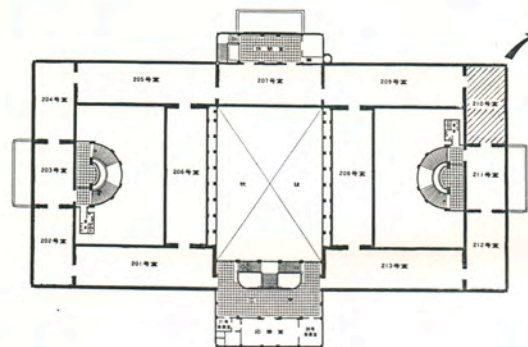


RECORDER

MIHOKO KOSUGI AND YASUHIKO ANDO

1983. 3. 3. (SAT) ~ 3. 13. (SUN)

KYOTO—INDÉPENDENT



210号室 THE COURT

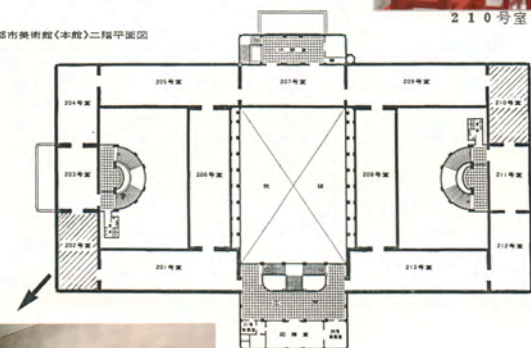
BY HIROKO NAKATSUKA  
GO HAYASHI



210号室 THE COURT (×1.5 法廷)

BY HIROKO NAKATSUKA  
GO HAYASHI

京都市美術館(本館)二階平面図



202号室 QUARTER—FINAL

BY MIHOKO KOSUGI AND YASUHIKO ANDO

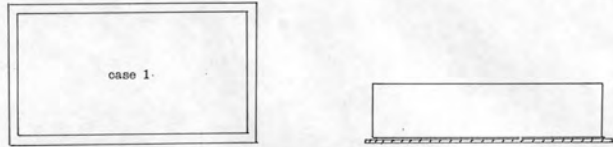
1984. 3. 1. (SAT) ~ 3. 11. (SUN)

KYOTO—INDÉPENDENT

# TABLE 1 COURT 1・天女の庭

CASE : case 1

SETTING :

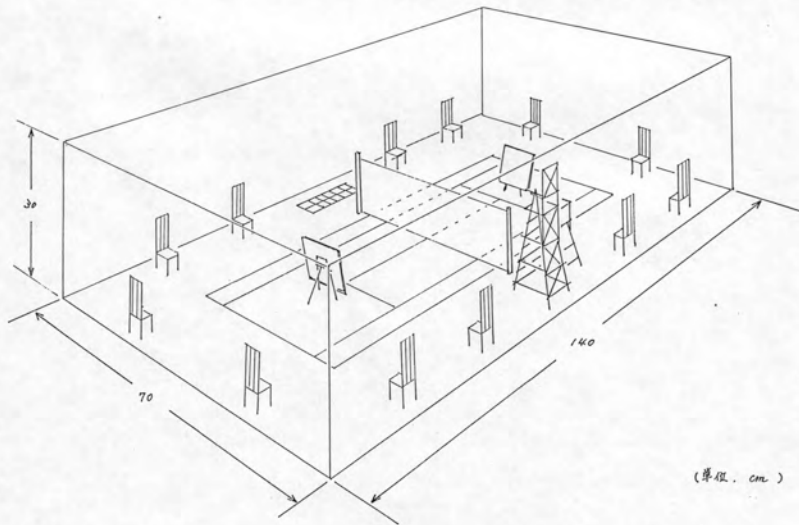
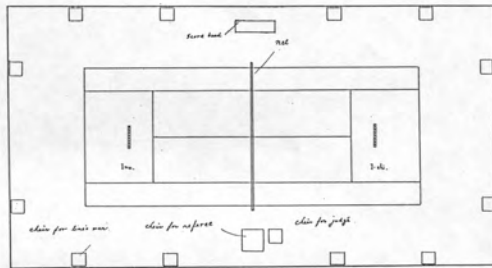


DATA OF CASE :

透明アクリルの直方体 30 × 70 × 140 cm 5 mm

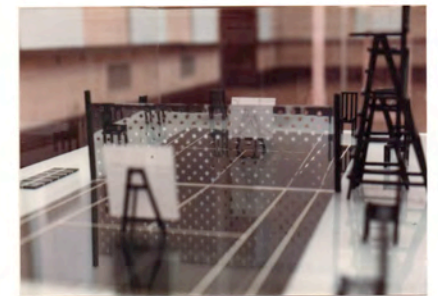
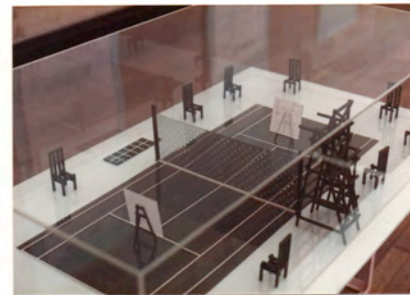
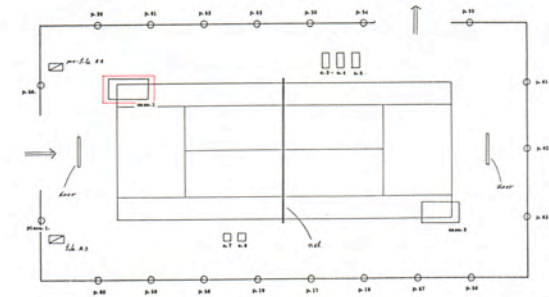
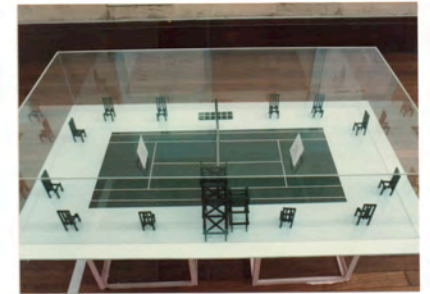
内部の設置物

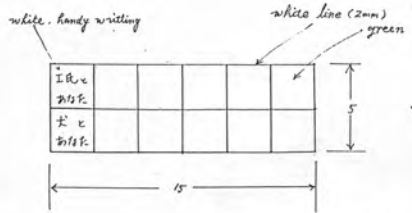
- NET : 鏡面アクリル板 (Fig 3)
- LINE : white tape 0.2 cm
- socar boad (Fig 1) 椅子 (11 個) (Fig 2)
- object (2 個) (Fig 4, Fig 5)
- 審判席 (大小各 1 個) (Fig 6, Fig 7)



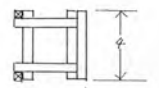
(単位: cm)

PHOTO OF TABLE :

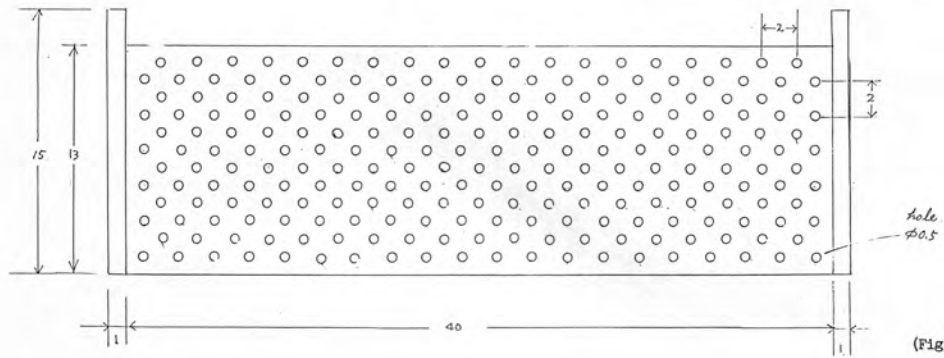
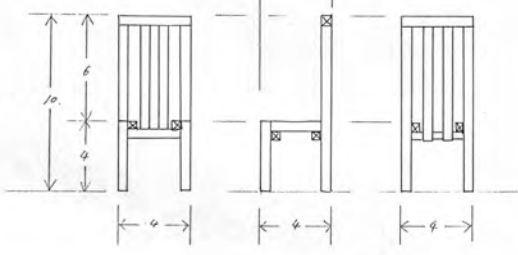




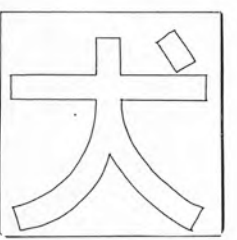
(Fig 1)



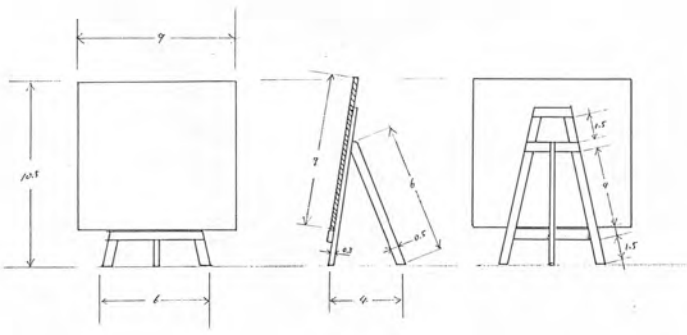
(Fig 2)



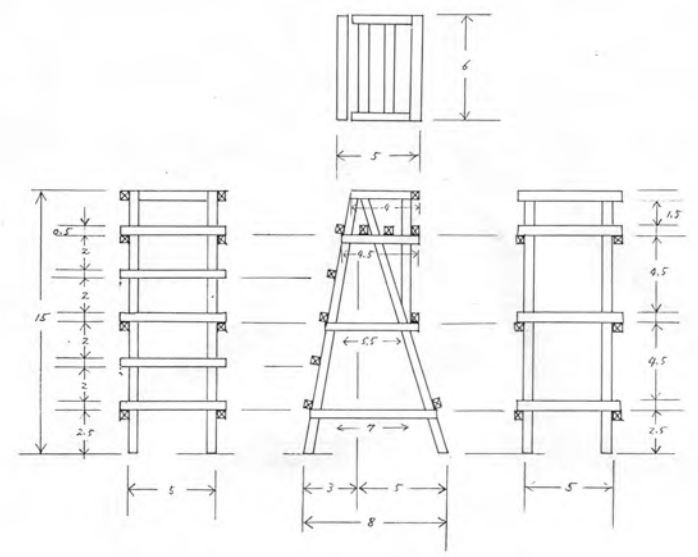
(Fig 3)



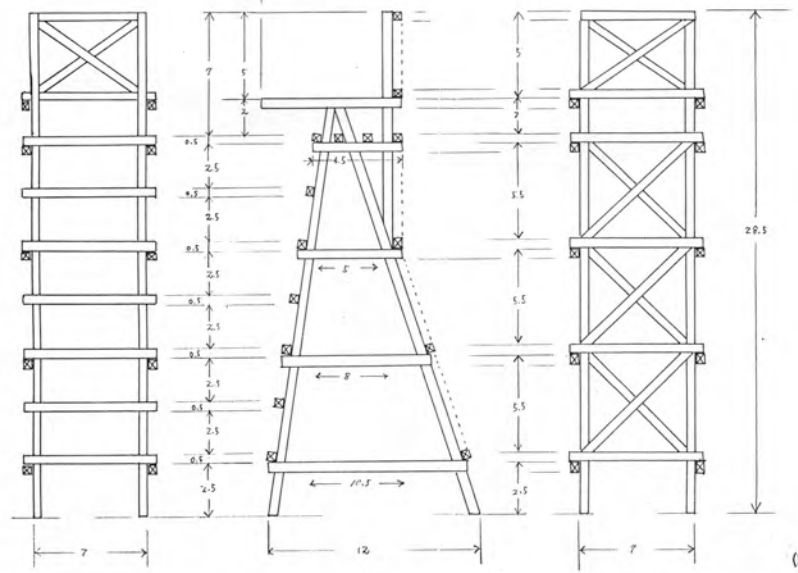
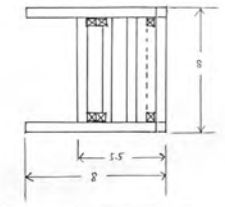
(Fig 4)



(Fig 5)



(Fig 6)

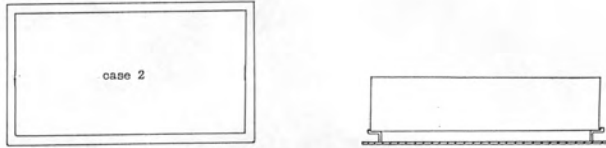


(Fig 7)

# TABLE 2 COURT 2

CASE : case 2

SETTING :



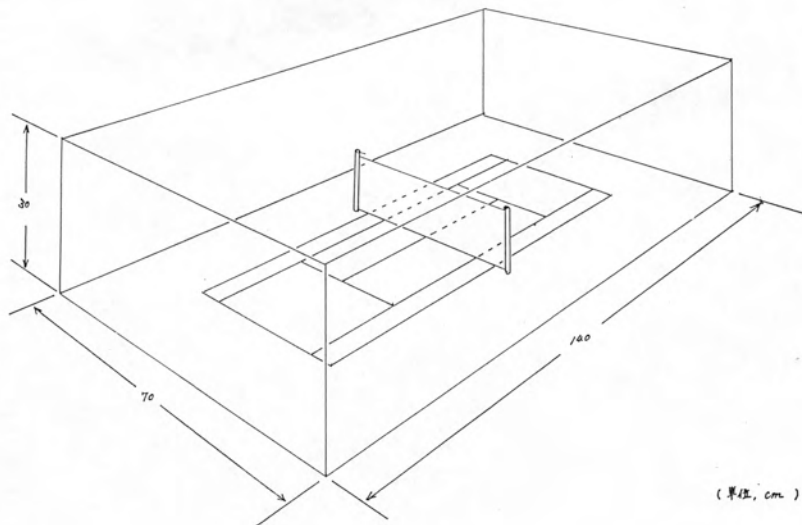
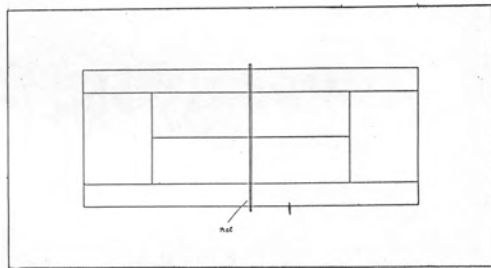
DATA OF CASE :

透明アクリルの直方体 30 × 70 × 140 cm 5 mm

内部の設置物

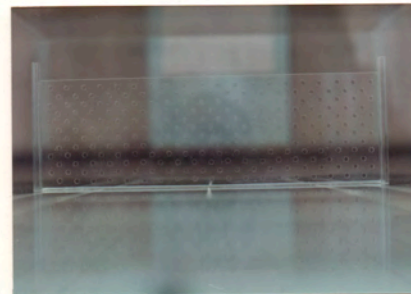
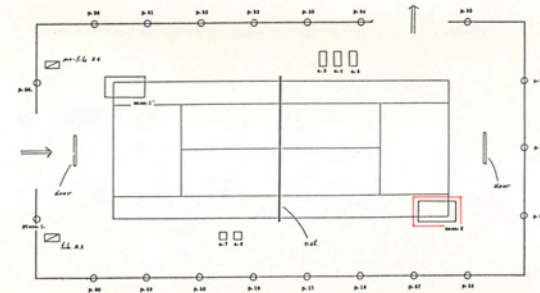
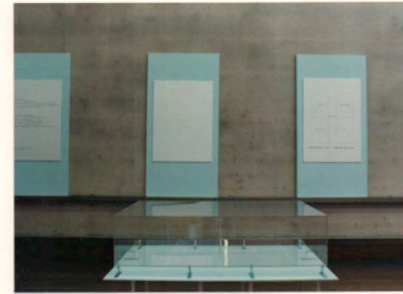
NET : 透明塩ビ板 (Fig 3)

LINE : white tape 0.2 cm



(単位, cm)

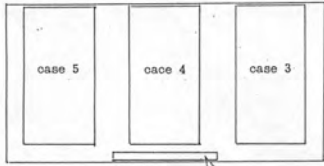
## PHOTO OF TABLE :



# TABLE 3 EXIT — ENTRANCE

CASE : case 3 case 4 case 5

SETTING :

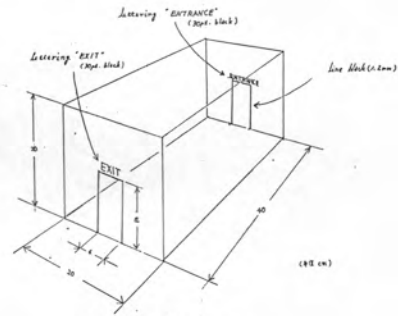


「外へ・・・出口・・・内への出口・・・通路・・・内への通路・あるいは迷路」

DATA OF CASE :

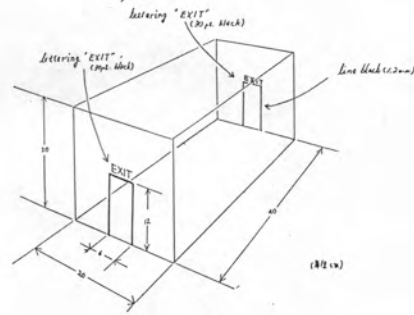
## case 3

透明アクリルの直方体 20 × 20 × 40 cm 3 mm  
 表面に文字 (univers 65 . 30 pt ) 「EXIT ・ ENTRANCE」



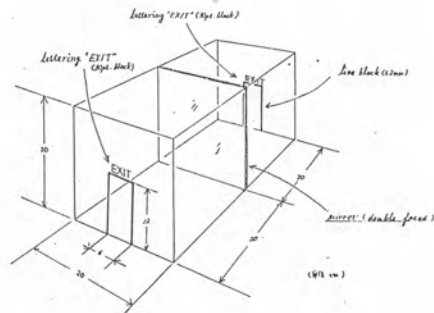
## case 4

透明アクリルの直方体 20 × 20 × 40 cm 3 mm  
 表面に文字 (univers 65 . 30 pt ) 「EXIT ・ EXIT」

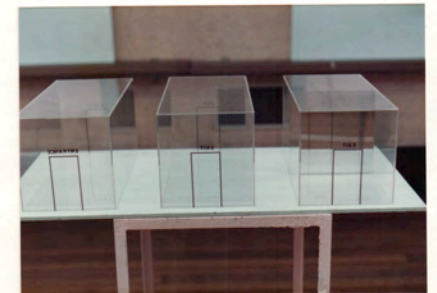
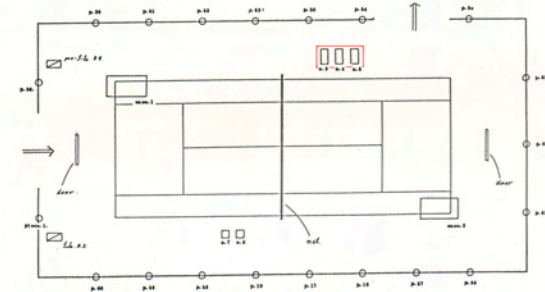


## case 5

透明アクリルの直方体 20 × 20 × 40 cm 3 mm  
 表面に文字 (univers 65 . 30 pt ) 「EXIT ・ EXIT」  
 直方体の中央に鏡面板の仕切り 20 × 20 cm 3 mm



## PHOTO OF TABLE :

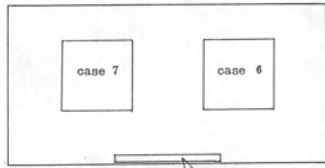




# TABLE 4 わたしに ふれないでください

CASE : case 6 case 7

SETTING :



「静りゆくこと・・・静ることのうちに あるいは沈黙のうちに」

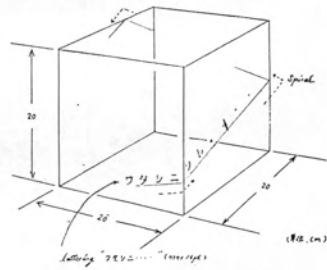
DATA OF CASE :

## case 6

透明アクリルの立方体 20 × 20 × 20 cm 3 mm

表面に文字 (カタカナ 26 pt)

「ワタシニ フレナイデクダサイ」、内 数文字裏文字



## case 7

透明アクリルの立方体 20 × 20 × 20 cm 3 mm

表面に文字 (カタカナ 26 pt)

「ワタシニ フレナイデクダサイ」、内 数文字裏文字

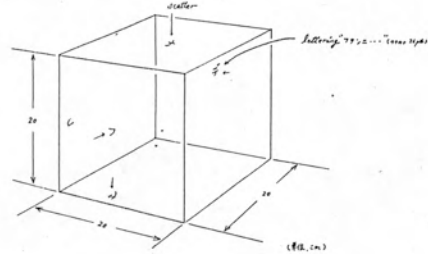
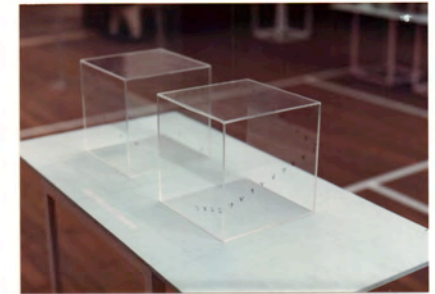
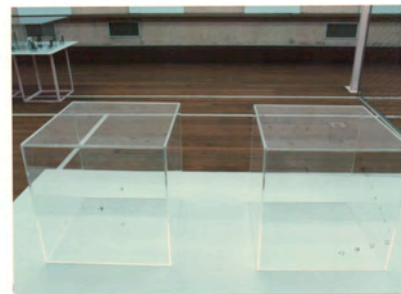
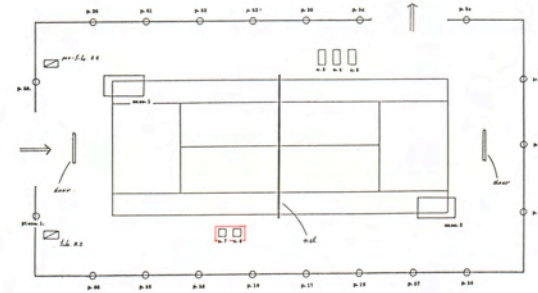


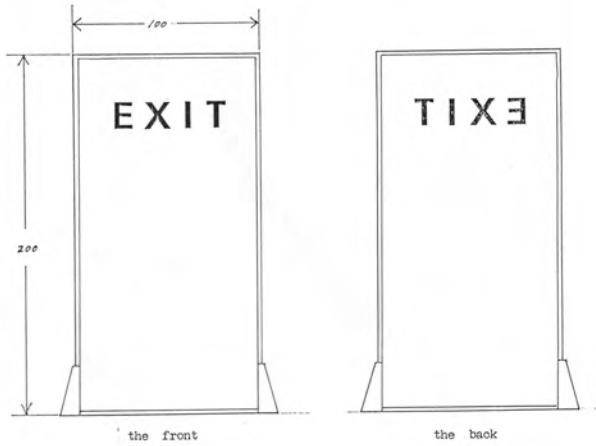
PHOTO OF TABLE :



# SET 1

透明アクリル板100 × 200 cm 5 mm (× 2枚)

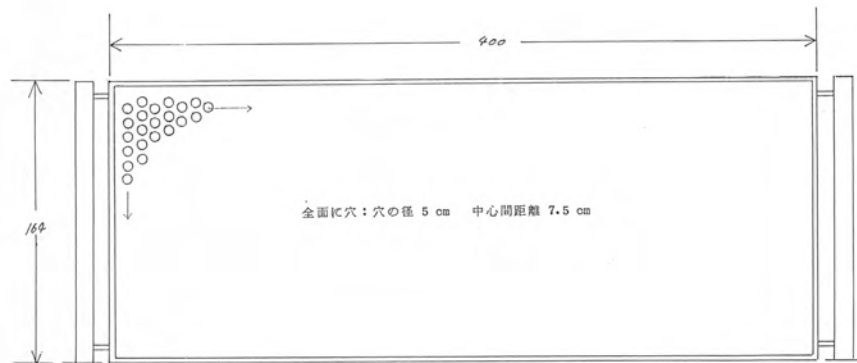
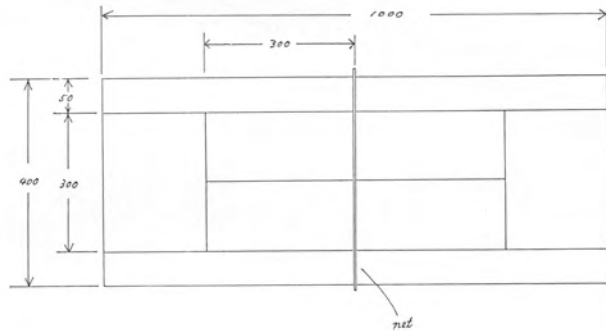
表面に文字「EXIT」(1文字約 20 × 22 cm)



# SET 2

NET : 透明塩ビ板 164 × 400 cm 4 mm

LINE : white tape 5 cm



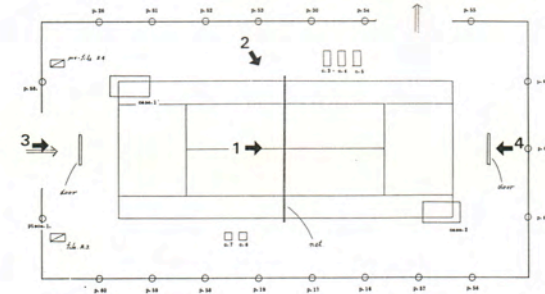
# PHOTO OF SET :



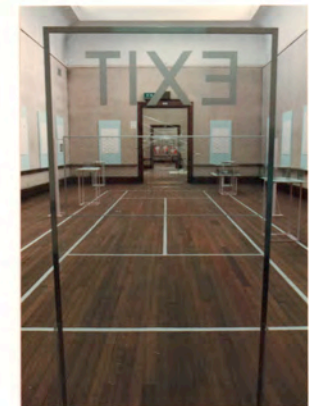
1



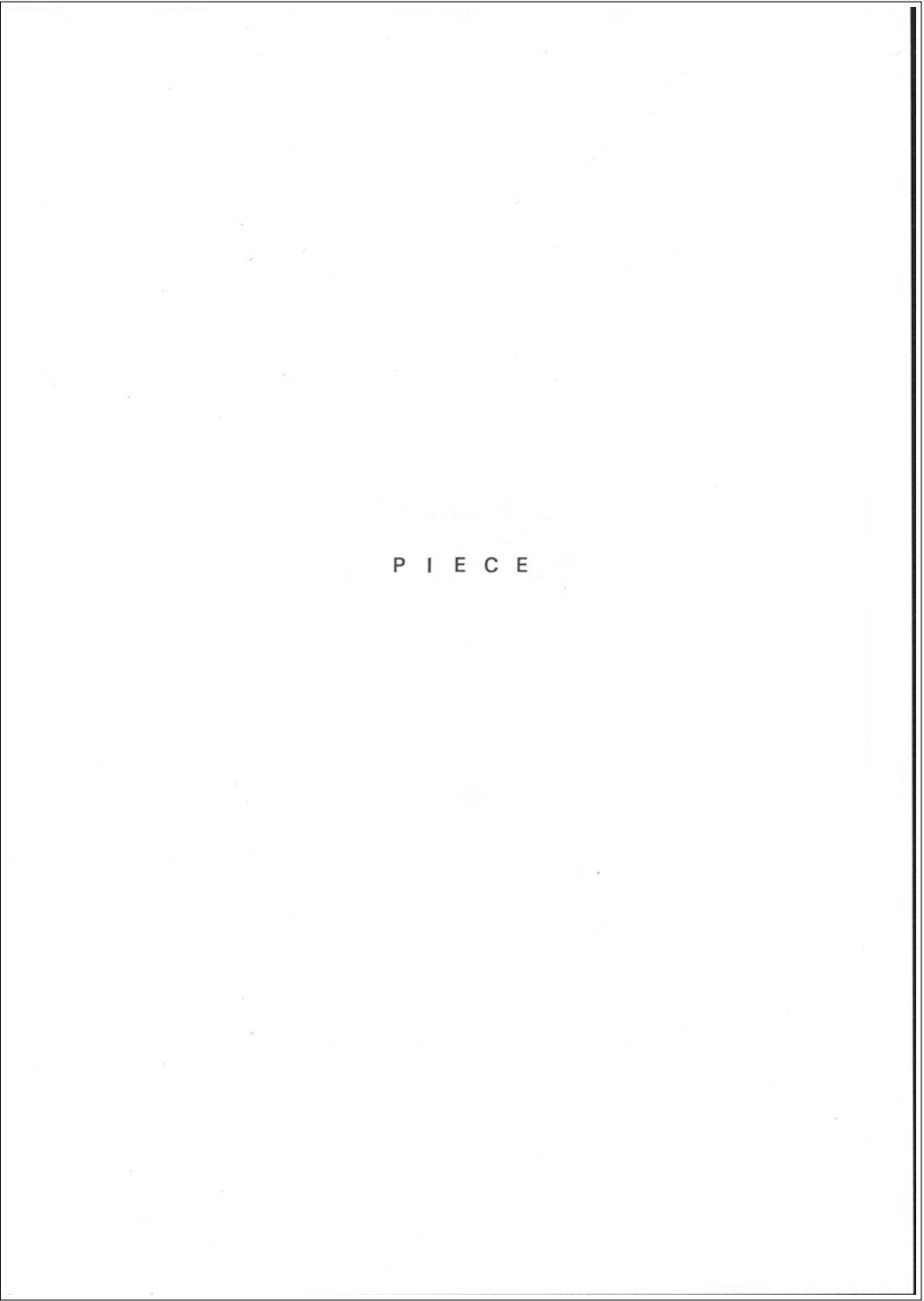
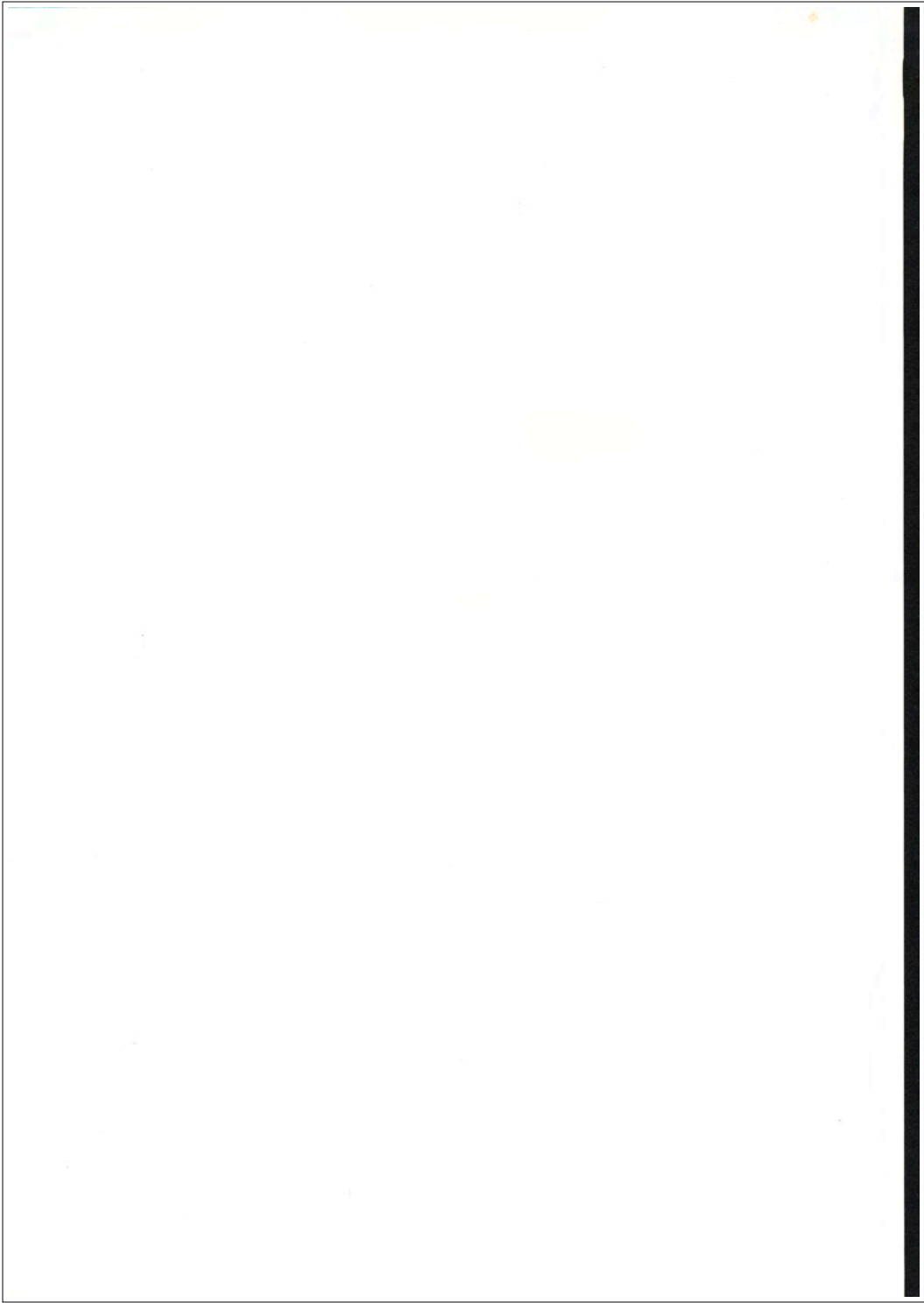
2



3



4



PIECE

記 録

RECORDING  
NUMBER

no. 4

QUARTER-FINAL

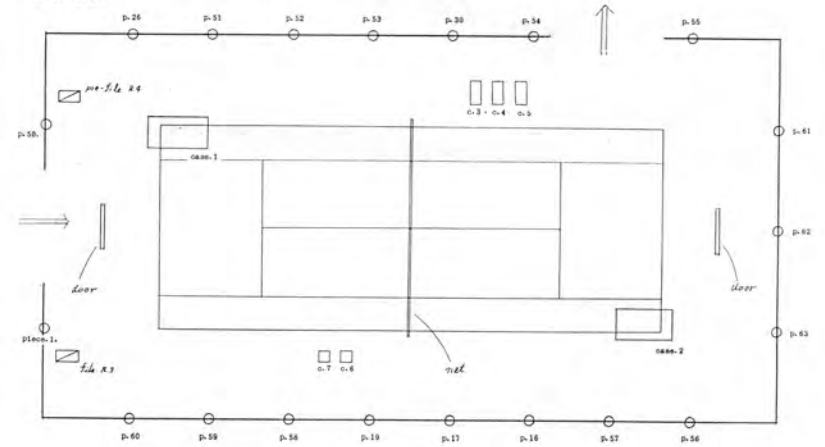
DATE

1984. 3. 1. (SAT) ~ 3. 11. (SUN)

PLACE

KYOTO-INDÉPENDANT

SETTING



piece.1. p.50.

----- 記 録

p.26 p.51 p.52 p.53 p.30 p.54 p.55

case.1 c.2 c.3 c.4 c.5 ----- 誰もいないデニスコート

p.56 p.57 p.16 p.19 p.58 p.59 p.60

c.2 c.3 c.4 c.5 c.6 c.7 ----- 表面 /

p.61 p.62 p.63

----- PIECE

RECORDER

MIHOKO KOSUGI AND YASUHIKO ANDO

八日目。雨。  
この時間 テニスコートに人影はない。  
あなたは いつものように わたしの五枚で 灰色のノートを書き換えている。見ようとは思わないけれど そのノートの紙面には  
わたしがあなたに向けて語ることばのすべてが 書き留められているのだろう。 ひとつも もらさず・・・わたしのことばが・・・  
・・・すべて・・・

(けれど 声にならない こんなわたしの好きさをも あなたのノートに書かれいとしたら・・・)  
いつのまにか わたしはあなたに話しかけている。

-----読んでいるのは わたしなのかしら？  
-----何を読んでいるの？

-----テニスコートだと思う。 そこには誰もいないの。 テニスをする人も観客も 誰ひとりとしてはいないの。  
-----誰もいないテニスコート？ 誰もいないテニスコートをあなたに読んでいるんだね？

-----誰もいないテニスコートをわたしは・・・いいえ そうじゃないわ。  
「わたしは誰もいないテニスコートを読んでいる。」なんて何故わたしに言えるというの。

-----ああ あなたは 「わたしは読んでいる。」とは言えないんだね。 「わたしは・・・」と言った途端 あなたはいてしまう。誰もいないテニスコートには 読めるあなたさえいはいはならないのだから・・・。じゃ 彼女の事を話してくれるかい？ それなら あなたにも話せるだろう？

-----ええ 誰もいないテニスコートを読んでいる彼女の事ね？  
-----ああ あなたが僕に夢の話を聞かせてくれるように。

-----彼女が誰もいないテニスコートを読んでいるの。  
-----何か考え事でもしているんだらうか？

-----いいえ 何も。 ただ読んでいるの。 もしも 何かを考え始めたら 彼女はいてしまうわ。  
-----誰もいないテニスコートだね。

-----ええ だから彼女は ただ読んでいるだけなの。きつと考える事ができないよ。何かに心を奪われているの。  
-----彼女は何かに心を奪われているの？

-----<sup>アラン</sup> たぶん。  
<sup>アラン</sup> 無に心を奪われて 彼女は読んでいるの。  
-----・・・無に心を奪われて 彼女は読んでいる・・・

-----どうして あなたに話しかけることばのなかで 彼女は読め始めているの。  
-----それは彼女なの？ 読め始めたのは あなたではないの？

-----何故あなたなんて言うの？  
-----ああ 誰でもないんだね。ただ 誰かであってはいけいないだ・・・。

-----誰かであってはいけいないの。  
-----でも それなら 彼女の事を話すのがあなた(わたし)であって いけいないんだ。夢を語り始めれば 夢の光景を読んでいたのが (わたし)でしかなくなくなってしまふように・・・。けれど 僕達はすでに話し始めているんじゃないだろうか？ 誰もいないテニスコートを読んでいる彼女の事を。

-----話している？ いったい 誰が話しているというの？  
誰も話してはいなかったんじゃないか？

(あなたは灰色のノートに ひとつももらさず わたしのことばを書き留める。  
けれど わたしは そのノートを読んだ事は無い。)

・  
・  
・  
読 め る  
・  
<sup>アラン</sup> 無  
・  
夢 を 語 る  
・  
誰 が 話 し て い る の ？

記 録

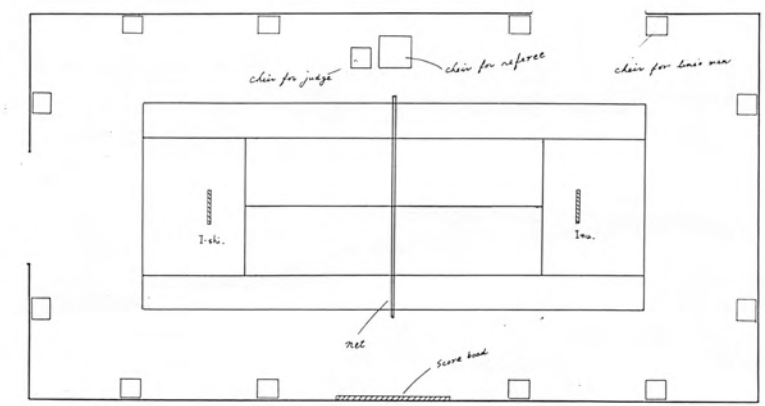
RECORDING NUMBER no. *n.h.* 1

THE COURT BY HIROKO NAKATSUKA GO HAYASHI

DATE 1983. 3. 3. (SAT) ~ 3. 13. (SUN)

PLACE KYOTO- INDEPENDANT

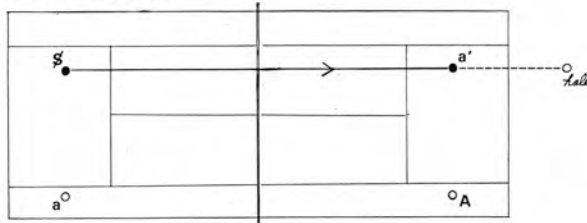
SETTING



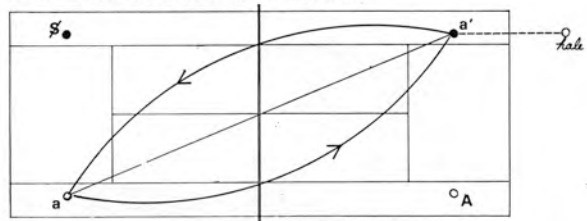
RECORDER MIHOKO KOSUGI AND YASUHIKO ANDO

# Quarter - Final

Service ... 鏡の奥へ ... 誰に向かって?

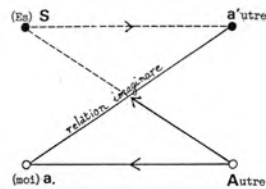


Rully ... わたしーあなた の反復回路 ... 続けざまの打ち返し



(シエーマル)

S: 主体 (sujet)

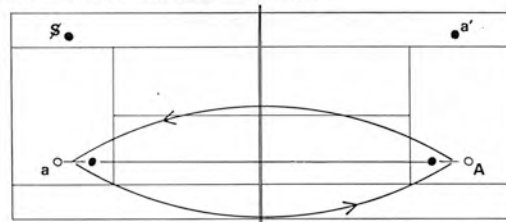


a: 他者 (autre)

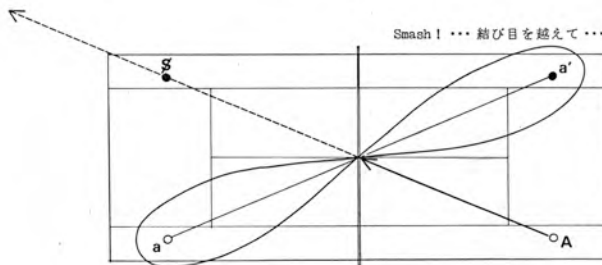
a: 自我 (moi)

A: 他者 (Autre)

Rully Rully ... 彼ー彼女 の反転回路 ... いつまでも



Smash! ... 結び目を越えて ... ボールは何処へ



# Terms of Quarter Final

BALL (ボール)

不在のボール ... 視線・眼ざし / 欲望のベクトル

COURT (コート)

< Court性 >

あなた・わたし. 法. 審判. 舞台 ... カタチツクラレ

< The Court (装置) >

誰のものでもない二つの目 ... 空に落ちゆく

< 誰もいないテニスコート >

NET (ネット)

相手の姿を覆い隠し 鏡面化された NET. 鏡面の表に陥れた無数の穴

ワタシノ鏡像・似姿ニアイタ穴 アルイハ アナタノ姿ニ陥タレタ

ワタシノ鏡像・似姿 ... 欠如としてのアナタ あるいはワタシ

PARTNER (パートナー)

看板化されたタブロー "I氏". タブロー化された看板 "犬"

I氏 ... I (わたし) ?. Ideal ego (理想自我) ? Image ?

Inu ?

犬 ... Inu ?. Dog ?. 居ぬ ?. 去ぬ ?

QUARTER FINAL (クォーターファイナル)

"試合が終われば 彼女はどこへ行くの?"

... 誰もいないテニスコートに彼女はでていく

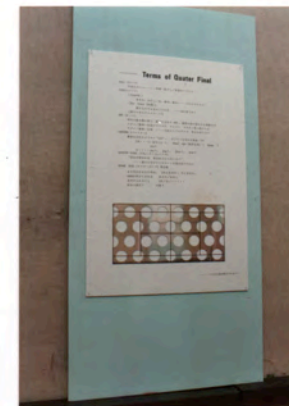
SCORE BOARD (スコアボード) 得点板

まだ空白のままの得点. I氏とあなた・犬とあなた.

GAMEに呼びこまれる あなた/わたし

名付けられること I氏/犬/.....

試合の続行? 中断?



..... いったい誰が眺めているの?

曇天。  
窓は閉まっている。  
食堂の あなたのいる側からは 誰は見えない。  
わたしのほうからは見わたせて わたしは座を眺めている。わたしのテーブルは 窓の縁にくっついている。  
光線がまぶしいため わたしは 目に涙をよせている。わたしの視線は往ったり来たりする。ほかの客たちも  
あなたは見えないテニスのゲームを眺めている。あなたは テーブルを覚えてほしいと申し出たしなかった。  
わたしは 見られていることを知らない。  
今朝五時頃 雨が降った。  
今日は ゲームをたたく音が轟々と響く。わたしは夏服を着ている。  
わたしの前には いつも本が置いてある。あなたが来てから読み始めたものか？それとももっと前からか？  
本のそばに 白い線が二つある。わたしは食事ごとに線が飲む。  
ときどき わたしは本を開ける。

曇天。  
窓は閉まっている。  
食堂の 彼のいる側からは 誰は見えない。  
彼女のほうからは見わたせて 彼女は座を眺めている。彼女のテーブルは 窓の縁にくっついている。  
光線がまぶしいため 彼女は 目に涙をよせている。彼女の視線は往ったり来たりする。ほかの客たちも  
彼は見えないテニスのゲームを眺めている。彼は テーブルを覚えてほしいと申し出たしなかった。  
彼女は 見られていることを知らない。  
今朝五時頃 雨が降った。  
今日は ゲームをたたく音が轟々と響く。彼女は夏服を着ている。  
彼女の前には いつも本が置いてある。彼が来てから読み始めたものか？それとももっと前からか？  
本のそばに 白い線が二つある。彼女は食事ごとに線が飲む。  
ときどき 彼女は本を開ける。そして ナゲまた閉じてしまう。

晴。七日目。  
テニスコートのそばの 白い長椅子に また彼女の姿が見える。ほかにも  
白い長椅子が いくつかあり その大半は人が座ってなく 周囲と  
孤立して 円形に配置され 向い合った顔面といた風情だ。  
彼が彼女を見失うのは午後の後だ。  
彼は バルコニーから彼女を眺めている。彼女は眠っている。  
彼女は背が高く、腰骨のところで軽く体を折り曲げたまは死んでいるよ  
うだ。彼女は毒薬でやせている。  
この時間 テニスコートに人影は少ない。  
午後のあいだは テニスをしてはいけないことになっているのだ。テニ  
スは 四時頃に再開され 夕暮れまで行われる。  
七日目だ。しかし 星間の麻痺した電音のなかで よく通る音若無人  
な男の音が響く。返事する者はない。誰かどことを言ったのだ。  
目をさます者はない。  
テニスコートの あんまりそばにいないのは彼女だけだ。ほかの人たちは  
もっと離れて 生煙の降だとか 霧の曲がる芝生などにいる。  
今しゃべったばかりの音が 真闇にこだまとなって反響する。

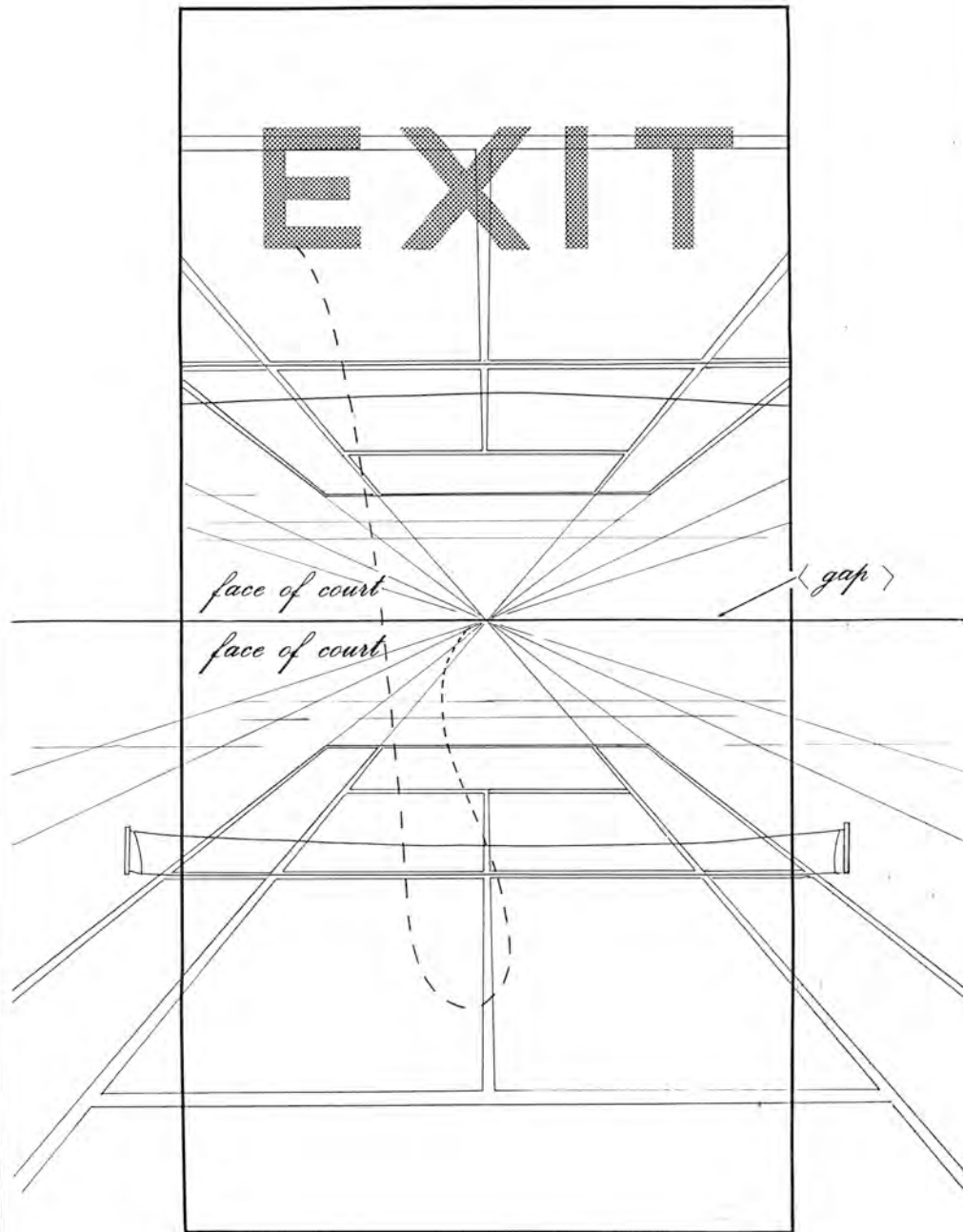
晴 彼は悪い。  
長椅子の上で 彼女が動いた。彼女は寝返りをうち両足を伸ばして閉じ  
気味にし 頭を片腕で枕ったまま また眠りこんでしまった。

晴。七日目。  
テニスコートのそばの 白い長椅子に またわたしの姿が見える。ほかにも  
白い長椅子が いくつかあり その大半は人が座ってなく 周囲と  
孤立して 円形に配置され 向い合った顔面といた風情だ。  
あなたがわたしを見失うのは午後の後だ。  
あなたは バルコニーからわたしを眺めている。わたしは眠っている。

わたしは夢を見ていたらしい。

晴 彼は悪い。  
長椅子の上で わたしが動いた。わたしは寝返りをうち両足を伸ばして閉じ  
気味にし 頭を片腕で枕ったまま また眠りこんでしまった。

わたしは夢を見ていたらしい。



-----眺めているのは わたしなのかしら？

-----何を眺めているの？

-----テニスコートだと思う。そこには、誰もいないの。テニスをする人も観客も 誰ひとりとしてはいはしないの。

-----誰もいないテニスコート？ 誰もいないテニスコートをあなたは眺めているんだね？

-----誰もいないテニスコートをわたしは・・・いいえ そうじゃないわ。

-----ええ 誰もいないテニスコートを眺めている彼女わたしの事ね？

-----ああ あなたが僕に夢の話聞かせてくれるように。

-----彼女わたしは誰もいないテニスコートを眺めているの。

-----何か考え事でもしているんだらうか？

-----いいえ 何も。ただ眺めているの。もしも 何かを考え始めたら 彼女わたしはいてしまうわ。

-----誰もいないテニスコートにね。

-----ええ だから彼女わたしは ただ眺めているだけなの。きっと考える事ができないのよ。何かに心を奪われているの。

-----話している？ いったい 誰が話しているというの？

誰も話してはいなかったんじゃないか？



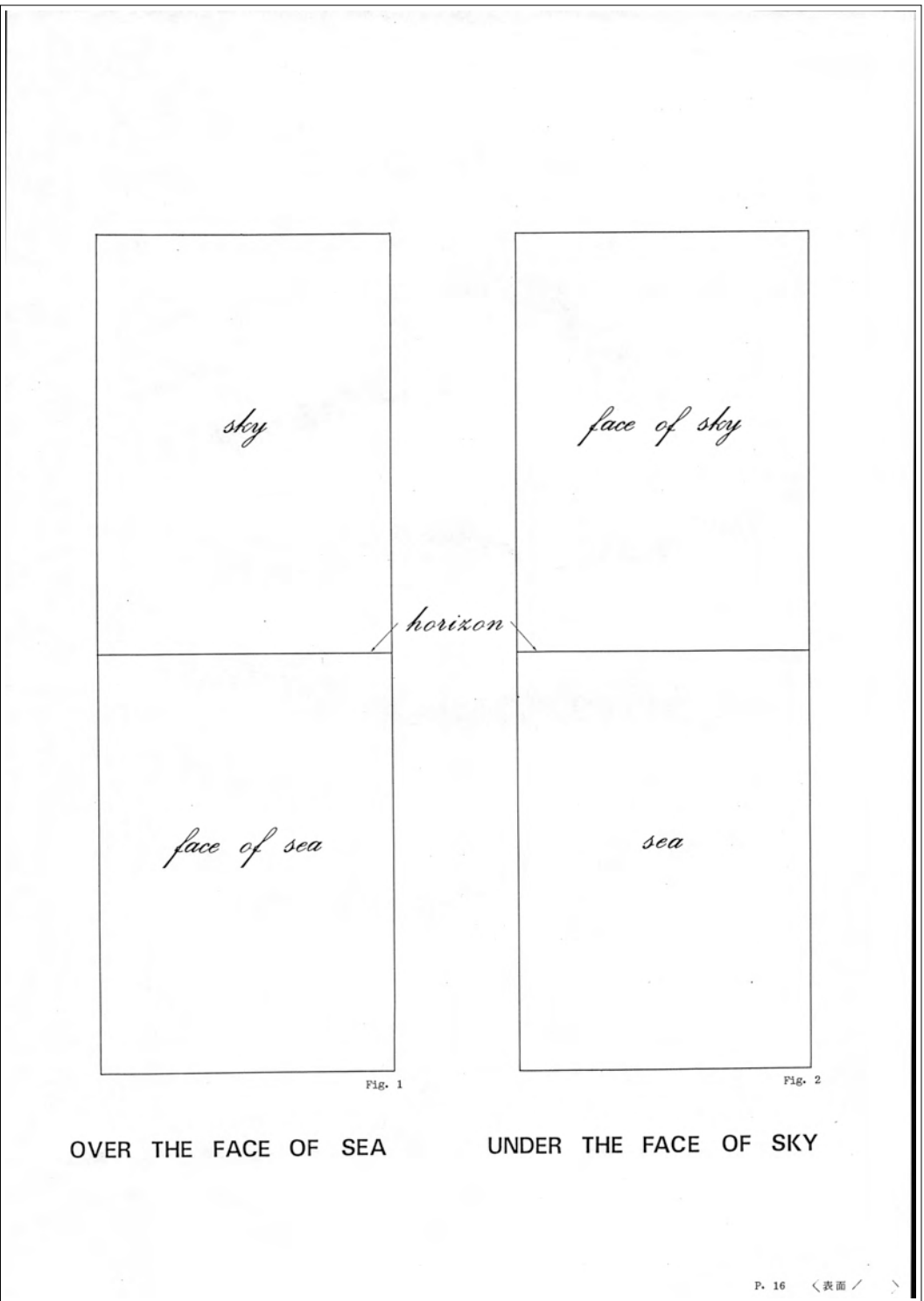
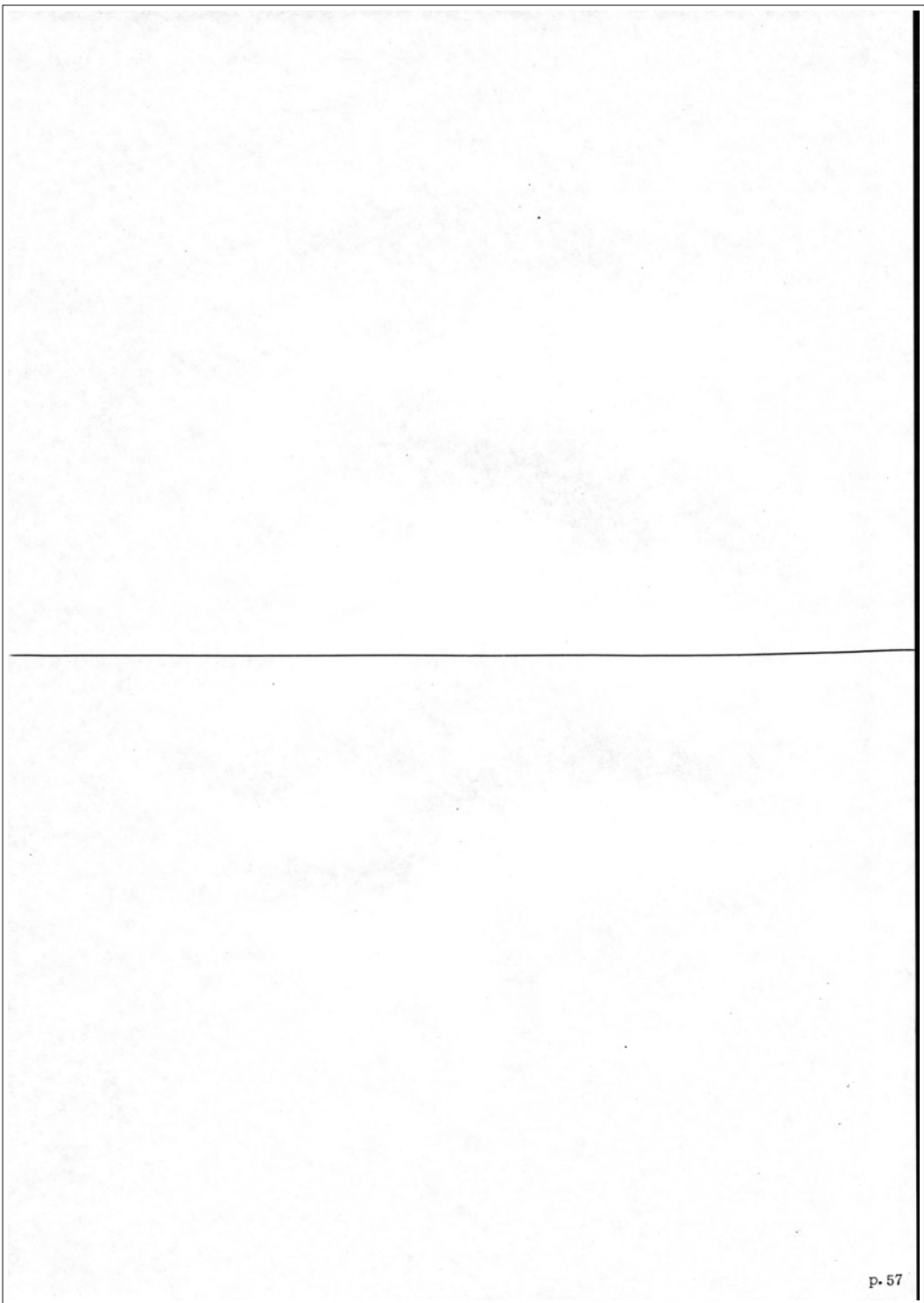


Fig. 1

Fig. 2

OVER THE FACE OF SEA

UNDER THE FACE OF SKY

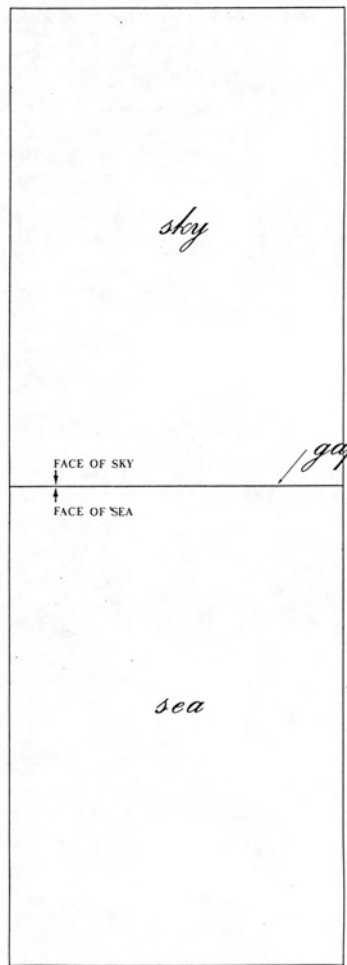


Fig. 3

FROM INSIDE OF  
REAL SPACE

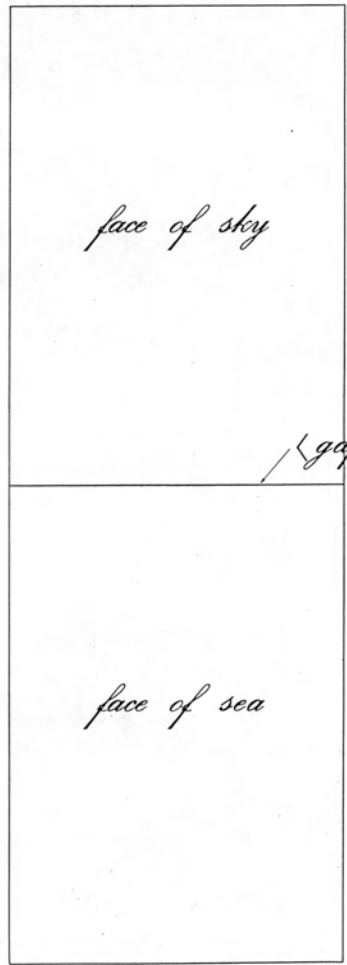
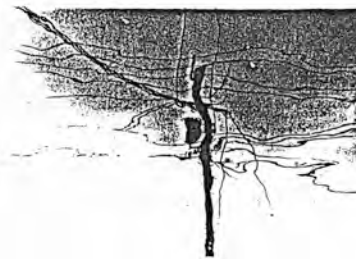


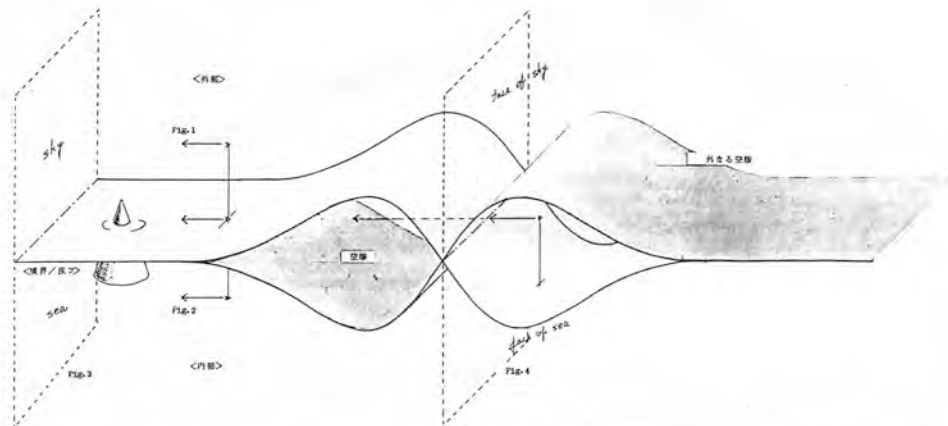
Fig. 4

FROM INSIDE OF  
<IMAGINAL>SPACE



次のように述べること——<奇妙なことであるが、身体とは見るものであり、そのことは  
まさか、身体は見るものだからということに付かならぬ>。ところで<身体が見るものである>  
と私がいう場合、真実のことは、<身体は見る行為に於いて見えてくるようなこと>が  
成立し、または物質の表面から見るのだ、ということなのである。またはどういってもいい  
——<身体は、私にとっての鏡、例えば三面鏡の中で見るのだ>と。

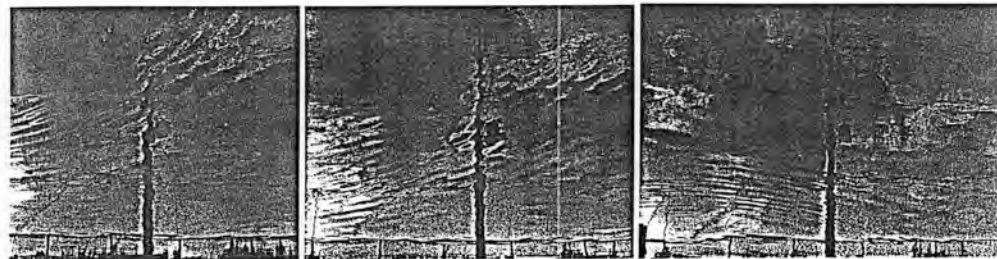
私の身体は物のひとつに数えられ、ひとつの物である。私の身体は世界の観目のなかで取り  
こまれてお、その観力は物のそれなのだ。しかし、私の身体は自分で見たり動いたりする  
のだから、自分のまわりを物で満ちるのだが、それらの物はいわば身体そのものの附属品が延長  
であって、その内うちを拡張され、世界の全を意味する身体の一部をなしている。  
したがって、世界は、自分から自身という生物で仕立てられていることになるのだ。



注視するものは、母親の身体との接触やそのほかの母乳などが自分のほうに  
もどってくることを求めて、母親のほうにむかって呼びかけをこなす。スベックが「アナ  
ライズanalyse」と呼ぶこの呼びかけは、母のなかの乳と子どもの生体構成要素がいまこ  
こでは未知していることを示している。ところでこの呼びかけに対応した「じゃぶんば  
い母親」が示した乳母はアナライズの呼びかけを受けとめる機能をなすのだが、母  
の状態の乳母がこの境界点に離れ去ると、最初の子が母の乳母からもれるわけである。  
いわば母親の乳母や身体は、呼びかけが受けとめられる表面の、境界点、固定軸、目標をし  
るものであり、幼児の呼びかけを強く受けとめてもてなすことにより、母親の乳母をそ  
の「穴」の先頭で笑いかかえるのである。

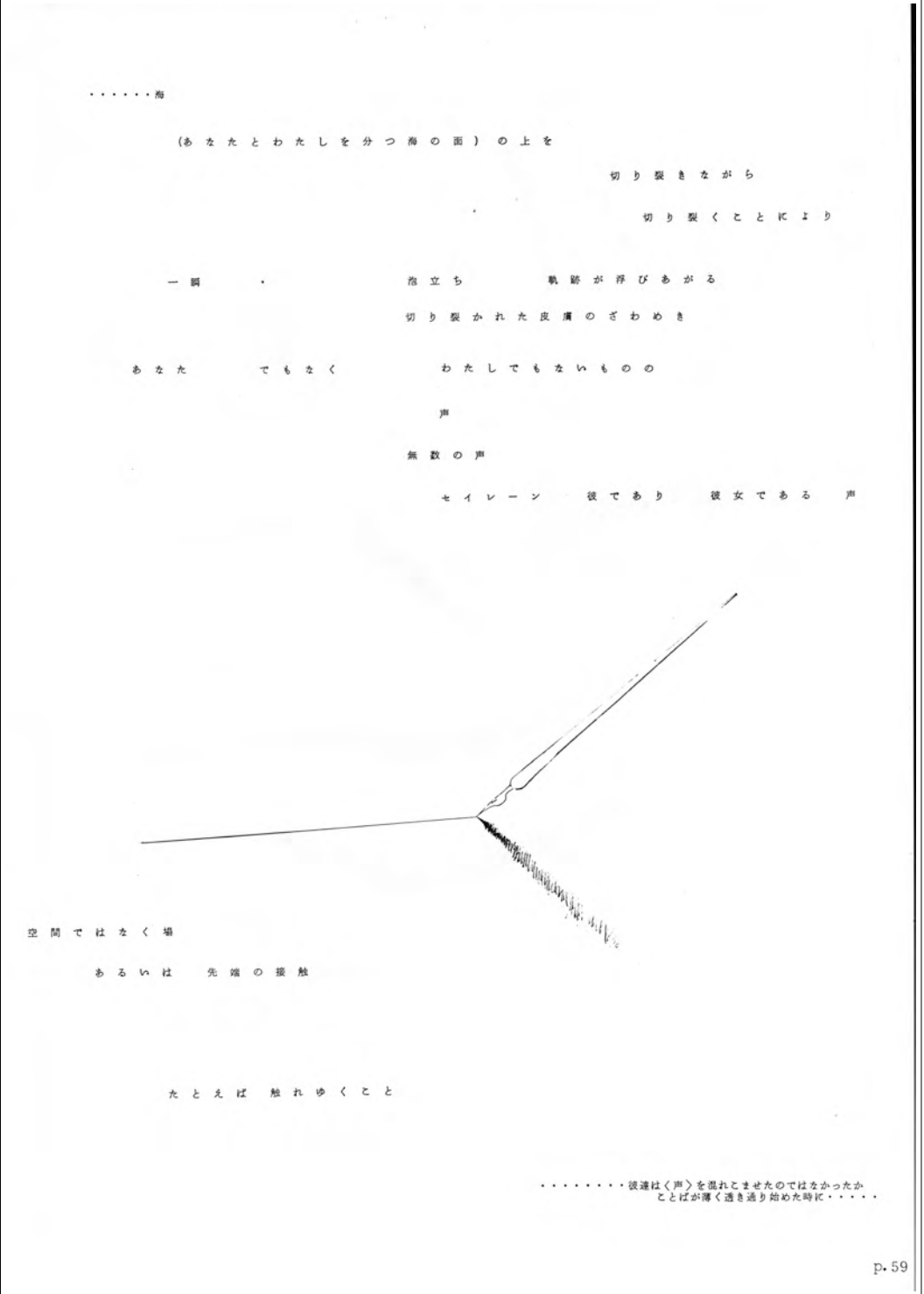
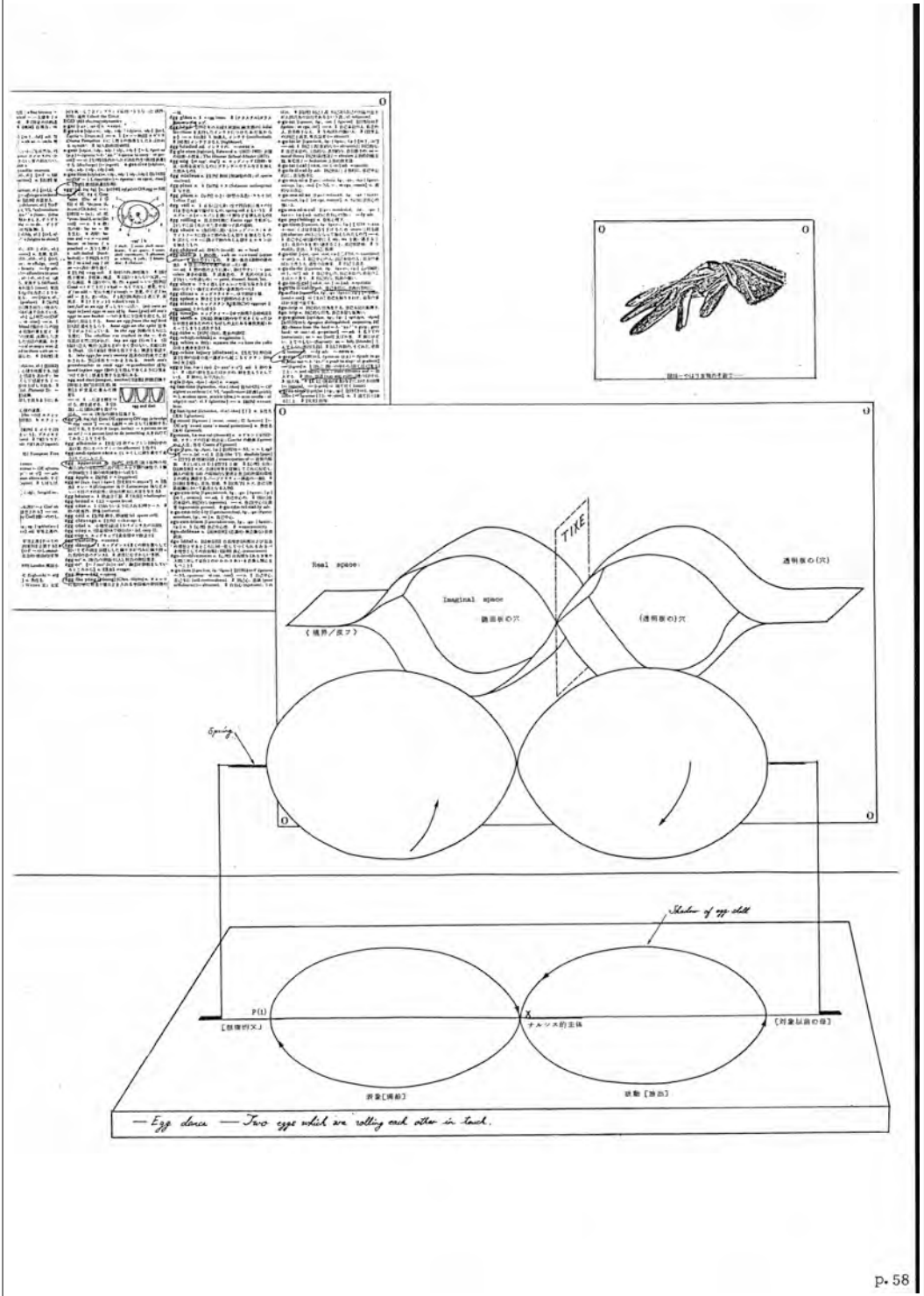
アナライズの呼びかけをもてなす境界点には乳母だけ限定されない。口唇や視覚や  
聴覚のどれにかいても同じ「アナライズの笑い」がこぼれてくる。もしもそれより、ひ  
こくんだりする乳母、いさなり母親とびこくる光、閉鎖をわいて開せられる声や音楽な  
どが、同じ働きをなすことができる。

乳母や光や音は、アナライズの運動の乳母を部分的に受けとめ、固定化し、フック  
ードのようになり取りつ、アライズを固定点をなすものだ。これらの点はいし離れ、自己と  
他者、幼児と母親、主体と客体が未分化の状態にあって、まだいかなる空間性もかたちづ  
られていないところだ。リズム状の運動性を固定し取りつる最初の「場」をつくりだす  
この最初の「場」には、まだ内面も外面もない。



・・・それから、二つの「水面」が・・・  
一つの「水面」は、壁、空で透明な鏡面を想像させ・・・〔「水面」1〕  
もう一方は、柱の影が空のゆれにも敏感に反応する鏡面を想像させる・・・〔「水面」2〕

〔「水面」1〕・・・壁／鏡面、ゆれを映る、壁、平面の点(三次元空間)、水面／Face  
〔「水面」2〕・・・柱、柱、もつと持ちあがる、平面の点(二次元空間)、鏡面



**coat** [kóut] n. 1 《洋服の》上着

(jacket) ; 外套 (がいとう) (cf. OVERCOAT, GR

EATCOAT) : a red ~ 英国の古風な軍服 (cf. RED

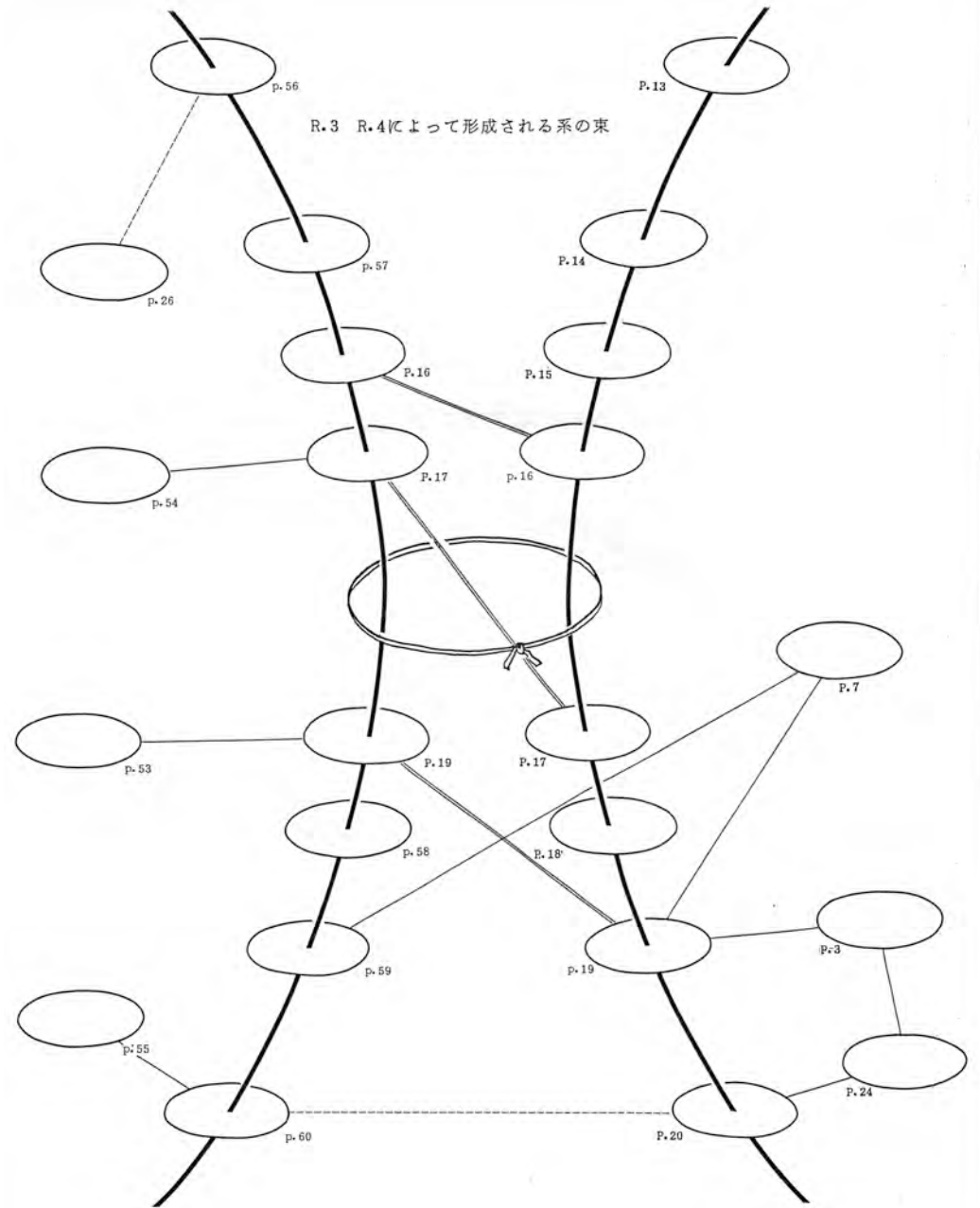
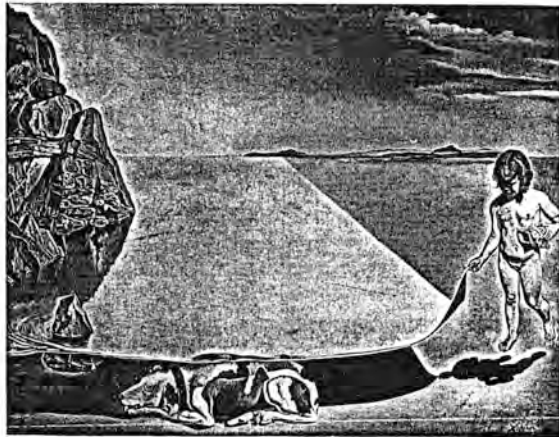
COAT) 2 《獣の》外被 (毛皮または毛)膜. 3 皮

(skin, rind), 殻 (husk) , 層 (layer) 4 被覆

めつき, 《ペンキなどの》塗り, 塗装.—vt.

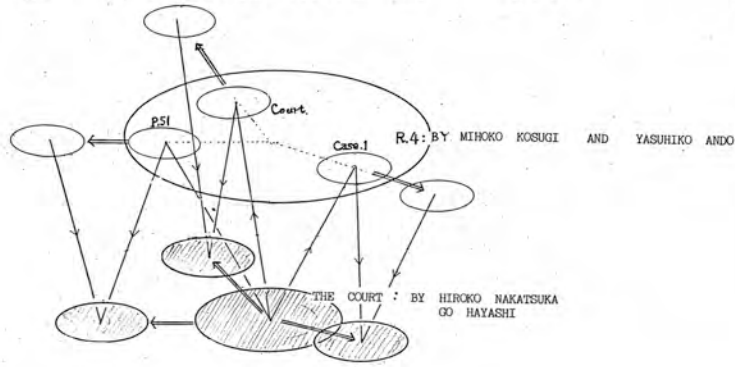
1 上着でおおう. 2 くペンキなどを > 塗る, <スズ

などを >...にかぶせる; <ほこりなどが > おおう

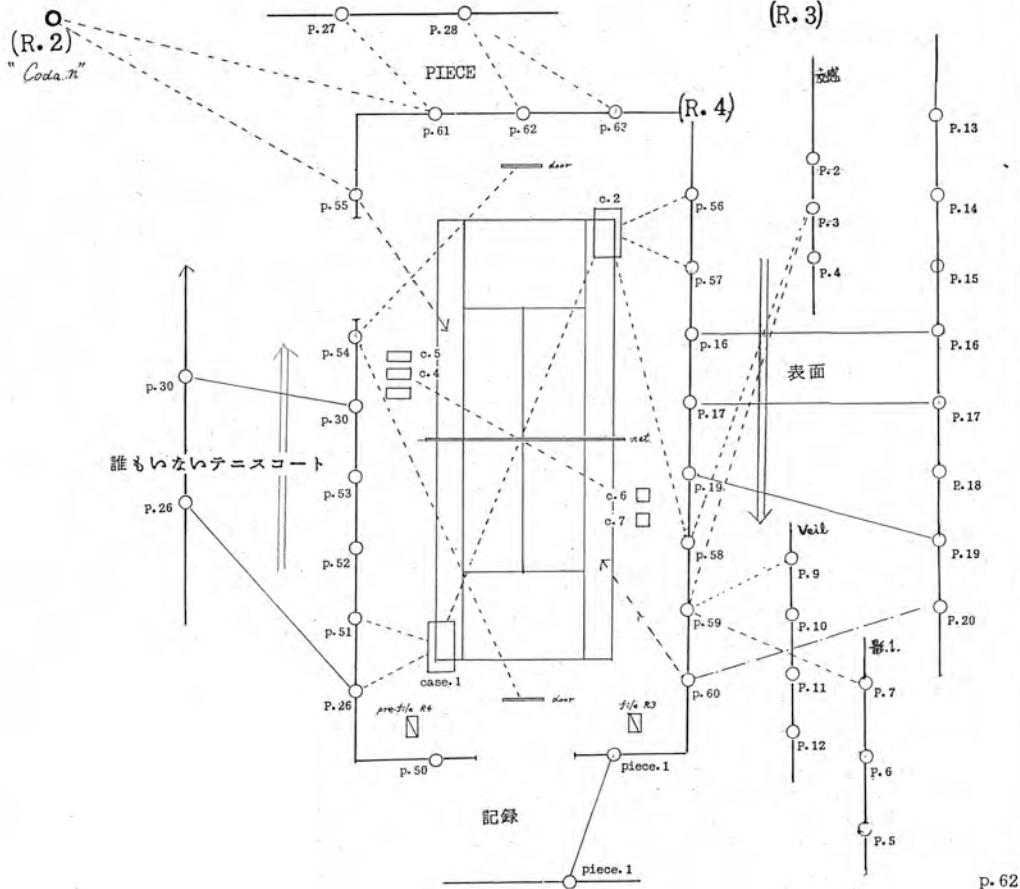


# PIECE-ANALYSIS 4

場/コート R.4 - n.h. 1 "THE COURT" における、引用・・・場のずれ



場・R.4-R.3-(R.2) の相互浸透

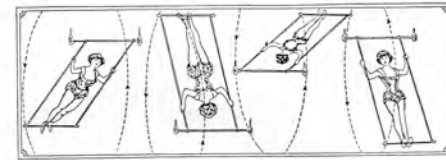


# PIECE-ANALYSIS 5 一破片

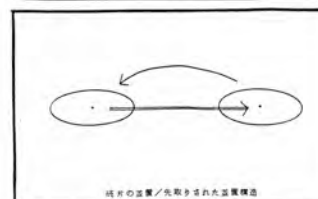
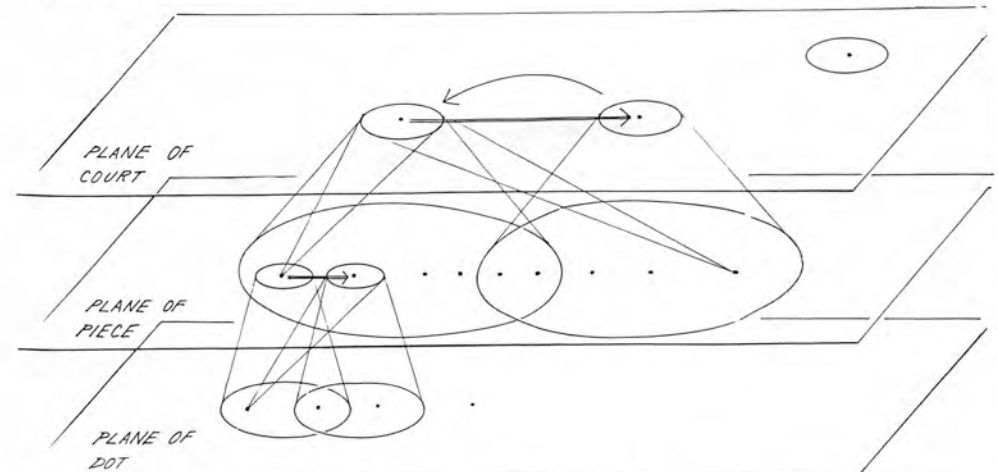
相互に隔てられた破片

「断片」一名詞、だが動詞（不在だけれども）の力をもつ名詞、裂け目、残片なしに砕かれたもの、断続の停止が変転を止めず、それどころか変転を、変転に属す断続の中で、引き起こすとき・・・・・・ (M. プランシヨ)

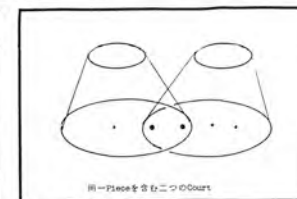
<破片>..... ばらばらにされた身体 わたし・あなた Court Piece  
関係の中断



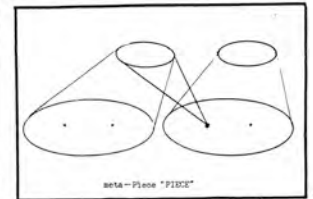
<破片>化



境界の区別/先取りされた区別構造



同一-Planeを含む二つのCourt



meta-Plane "PIECE"

記 録

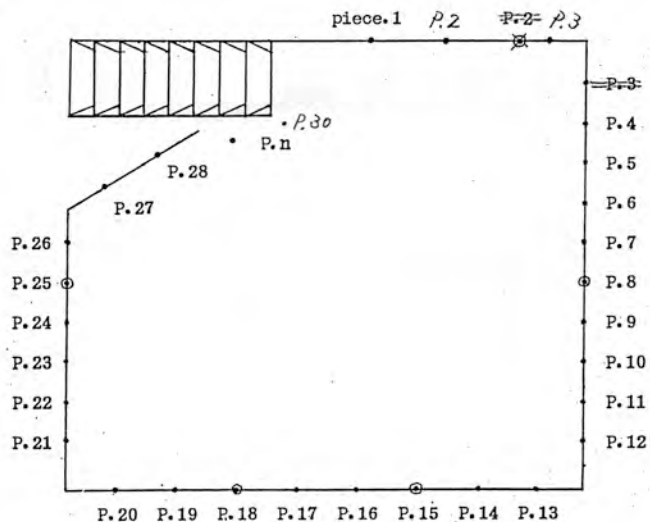
RECORDING  
NUMBER

no. 3

DATE 1983. 9. 20. (TUE) ~ 9. 25. (SUN)  
(12:00 ~ 7:30)

PLACE KIYAMACHI GARO  
(KYOTO KIYAMACHIDORI SHIJYO AGARU HIGASHI)

SETTING



|   |       |             |
|---|-------|-------------|
| piece. 1                                | ..... | 記録          |
| P.2 P.3 P.4                             | ..... | 交感          |
| P.5 P.6 P.7                             | ..... | 影. 1        |
| P.8 P.25                                | ..... | Eye         |
| P.9 P.10 P.11 P.12                      | ..... | Veil        |
| P.13 P.14 P.15 P.16 P.17 P.18 P.19 P.20 | ..... | 表面          |
| P.21 P.22 P.23 P.24                     | ..... | のぞきこむ       |
| P.26 P.30                               | ..... | 誰もいないテニスコート |
| P.27                                    | ..... | PIECE       |
| P.28                                    | ..... | PIECE       |

RECORDER

MIHOKO KOSUGI AND YASUHIKO ANDO

< 引用 >

" THE COURT " BY HIROKO NAKATUKA  
/ GO HAYASHI  
" R. 3 " BY MIHOKO KOSUGI  
/ YASUHIKO ANDO

[ 文献 ]

|                       |                    |
|-----------------------|--------------------|
| M. デュラス "破壊しに、と彼女は言う" | piece.26 p.30 p.56 |
| M. M. ボンティ "眼と精神"     | piece.19           |
| " " "研究ノート(肉、シェール)"   | piece.19           |
| N. シンイチ "チベットのモーツァルト" | piece.19           |
| J. クリステヴァ "ポリローク"     | piece.19           |
| M. プランショ "終りなき対話"     | piece.63           |

[ 図版 ]

|   |               |
|---|---------------|
| J. ラカン "シェーマL"                              | piece.52      |
| S. ダリ "水の影に眠る犬を見るため非常に注意深く海の皮膚をもちあげる少女である私" | piece.60      |
| A. プルトン "ナジャ(やはり女物の手袋で)"                    | piece.58      |
| OLD-TIME CIRCUS CUTS                        | piece.55 p.63 |

